

カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部
平成29年度 3月号
平成30年3月16日 発行



次第に寒さも緩み、学校の周囲の山でも少しずつ春に向かって準備を進めているように感じる今日この頃です。

平成29年度もあとわずかとなりました。この一年間、ご協力くださいました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

6年生はいよいよ中学生になります。現在の仲間と共に過ごすことのできるわずかな時間を惜しみながら、卒業までの慌ただしい日々を過ごしています。成すべきことに一つずつしっかりと取り組んで、有終の美を飾ってもらいたいと思います。

また、下級生たちも、各学年の最後の仕上げに励んでいます。6年生が安心して卒業できるように、奈良カレッジの良い伝統をしっかりと受け継ぎ、さらに発展させられるように、新学年への展望をもって新しい学年度を迎えてくれることを期待しています。

ところで、今年の3月11日で東日本大震災発生から7年となりました。あの時の、大地震の後に押し寄せる大津波の映像は今も忘れることができません。今なお避難している人々も7万人以上いらっしゃるそうです。復興は道半ばであり、復興への願いと被害に遭われた方々への鎮魂の祈りで過ごした3月11日でした。

阪神淡路大震災が発生した1月17日もそうですが、毎年その日になると大災害の恐ろしさや怖さを思い出します。しかし、日頃はあまりそういうことも考えず、防災についてもうい無頓着になりがちです。一人一人が防災意識をしっかりと持ち、万が一に備えることの大切さを改めて感じました。本校児童たちにも「自分の身は自分で守るのだ」という意識を持ち、そのためにはどうすればよいかを日頃から考え、行動することが必要です。

ご家庭でも防災について一度話し合いの機会を作ってくださいようお願いいたします。

卒業生に贈る言葉



蛍雪の功成り、無事に小学校課程を終えられる9期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ところで、本学園の教育目標は「誠実・明朗」です。

特に「誠実さ」は人間にとって非常に大切なものです。卒業生の君たちにとっても、これからの人生で決して忘れてはいけないものだと思います。

ところが、近頃、いい歳をした大人がこの「誠実さ」というものをないがしろにしています。日本の有名企業のデータ改竄や公務員による文書書き換えなど、これまで日本人が大切にし、また世界から日本が信頼されてきた拠り所が崩れてしまったと感じるような出来事です。このままでは、世界の中で日本という国の信頼が失墜してしまいます。

「信用」を築くには長い時間がかかります。しかも他者に対して誠実に、真心を持って相対することでしか培うことのできないものです。

卒業に当たって、次代を担う君たちをお願いしたいのは、人から信頼される人間になって欲しいということです。つまり誠実さを忘れないでほしいのです。人に裏切られることがあっても人を裏切る人間にはならないでください。

最後に、卒業を迎えるに当たって、今まで君たちを支えてくれた人々に感謝の気持ちを伝えましょう。一緒に学んできた仲間たちとの堅い絆をこれからも大切にしましょう。そして、無限の可能性に満ちた未来に向かって大きく飛躍してください。君たちの未来が明るく輝き、君たち自身が逞しく、有為な人間に成長されんことを、教職員一同心から願っています。

担任の先生からの「はなむけの言葉」

6年1組担任 山原 立資

卒業おめでとうございます。君たちに贈る言葉は、「切磋琢磨」です。
「切磋琢磨」は、もともと宝石を切り、磨いて輝かせることを言う言葉を人間にあてはめたもので、友人と互いに競い合って自分を磨くことを言います。しかし、ダイヤモンドを磨くことができるのはダイヤモンドだけです。したがって、君たちを磨くことのできる友人は、自分以上の実力を持っていなければなりません。だから、よい友だちはとても大切なのです。
君たちの前途には輝かしい未来が洋々と開けています。しっかりと地に足を付け、顔を上げて、前に進んでいってください。

6年2組担任 阪 拳志郎

これから世界はどんどん広がっていきます。
その広がりには、常に想像を超えてきます。
これまでに身につけた力で、広がる世界をおおいに楽しんでください。

3～4月の学校行事

月	日	曜	行 事		月	日	曜	行 事	
3月	17	土	学校説明会 in OSAKA		4月	1	日	春 期 休 暇	
	18	日				2	月		
	19	月	卒業式予行			3	火		
	20	火				4	水		
	21	水	(春分の日) 卒業式			5	木		
	22	木	3/21の振替休日			6	金	始業式	
	23	金				7	土		
	24	土	終業式			8	日	入学式	
	25	日				9	月	4/8の振替休日	
	26	月	春 期 休 暇	個別面談		10	火	新入児保護者オリエンテーション	
	27	火		個別面談		11	水	証明書写真撮影	
	28	水				12	木		
	29	木				13	金		
	30	金				14	土	週休日	
	31	土				15	日		

※平成30年度4月の保護者会について
4・5・6年生は4月21日(土)に、1・2・3年生は4月29日(日)の午前に開催する予定ですので、よろしくお願いします。

※新5年生の高野山体験は4月28日(土)29日(日)の1泊2日で実施する予定です。

6年生 修学旅行

6年生が、2月27日（火）～3月5日（月）でオーストラリア修学旅行に出かけました。途中、熱を出す児童もいましたが、お陰様で全員元気に帰国しました。現地では天候にも恵まれて、6年生たちは、楽しく、有意義で、かけがえのない体験ができました。



ブルーマウンテンズ



オペラハウス



Redlands College



カランビンワイルドライフサンクチュアリー



ゴールドコースト

※修学旅行については本校HPでも紹介しています。



文化祭

2月17日(土)に実施した文化祭には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。児童たちは、日頃の学習成果を遺憾なく発揮し、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。児童たちに心からの敬意を表します。



塚原先生の仏教コラム



私は、思春期の頃、宗教の存在を疑っていました。当時、オカルト宗教などの社会問題や宗教団体の事件などが世の中を騒がせていたこともあり、法要などの儀式や、目に見えないものへ手を合わせたりすることに抵抗を感じていました。

あるお坊様がおっしゃいました。「仏教は、願えば助けてくれるような甘いものではない。自然が時に厳しいように、仏教も厳しいものだ」と。それから仏教に興味を持ち、いつしかこの道に入りました。まさに、「諸行無常」は辛い現実を直視する厳しい考え方でした。しかし、その上で前へ進もうとする仏教の強さに心を惹かれました。そして、何より「慈悲」という仏教の心にじんわりとしみる温かさを感じました。

また、別のお坊様が、高野山の山から眼下に広がる夜景を前にしておっしゃいました。「この山で、私たち僧侶は毎日祈っています。知っている人のため、知らない人のために。中には辛い思いをしている人もいらっしゃるでしょう。私たちは祈ることしかできませんが、それでも『どこかで誰かが自分のために祈っている』と知って、少しでも心を軽くしてくださればと思っているのです。」

そして、おしゃか様はおっしゃいました。「目に見えるものも、見えないものも、遠くに住んでいる人も、近くに住んでいる人も、すでに生まれているものも、これから生まれてくるものも、すべての生きとし生けるものに、幸いあれ。」おしゃか様は、現代の私たちの幸せをも祈っておられます。どうか、辛いことがあっても、いつか幸せがやってきますようにと。この慈悲の心をお坊様たちが引き継ぎ、各地のお寺では毎日祈りが捧げられています。

無意味なことだと思う人もいるかもしれませんが。それでも私は、「誰かが誰かを思い続けている」という姿勢が大事だと思っています。その祈りがすぐに届かなくても、毎日祈り続けることで、良いご縁の歯車が回り、いつか何らかのかたちで誰かに幸せが巡ってくることを信じています。

私は、まだ祈りを届けるには至らないところがたくさんありますが、それでも皆様と一緒に祈ることで、これから旅立つ卒業生の、将来の幸せを祈りたいと思います。